

新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検討委員会・同専門部会合同検討会議

日時 2013年5月24日（金）

午後5時

場所 災害対策本部室

日 程

1 開会

2 議題

(1) 一次素案（専門部会案）の報告について（資料1-1～1-4）

(2) 一次素案に関する質疑

(3) 意見交換

(4) その他

指針の名称について（資料2）

3 閉会

補足資料 合同検討会議（5月11日）のグループ検討記録（1～3）

（事務局 企画政策課 内線2171）

## 合同会議結果を踏まえた論点と課題の整理について

## 1 意見提案と課題点

## (1) 1 班の意見提案と課題

## ア 意見提案の概要

- ・ 素案 1 を基本とする。
- ・ 個別計画を取り込むことで指針を「ファジー」にする。
- ・ 政策を重点化することで総合計画と差別化する。
- ・ シンプルにするためにも行財政改革等の内容は不要である。

## イ 意見提案の課題点

- ・ 個別計画がない場合や個別計画の改定が先行してしまう場合に対応が困難である。
- ・ 個別計画を含めることにより、屋上屋を重ねているように見えてしまう可能性がある。

## (2) 2 班の意見提案と課題

## ア 意見提案の概要

- ・ 素案 1 を基本とする。
- ・ 市長公約等は将来像の説明等のなかで受け込ませる。
- ・ 市長公約、施政方針との整合を図り、市政の継続性を担保する。
- ・ 政策は課題を捉えた上で総合的に位置づける。
- ・ 重点化は事業に対して行う。
- ・ 前文を活用することも想定する。

## イ 意見提案の課題点

- ・ 総合計画との差異が明瞭となる。
- ・ 事業のみが重点化される可能性があるため、構成に留意する必要がある。

## (3) 3 班の意見提案と課題

## ア 意見提案の概要

- ・ 総合計画との差異を明確化するためには、構成の抜本的な変更が必要である。
- ・ 長期展望は長期的課題と喫緊の課題に仕分けをする必要がある。

- ・ 課題，市長公約，都市像は前文化して，重点目標を強調するような構成とする。
- ・ 都市像は市歌，市民憲章，過去の将来像等から普遍的な要素を盛り込みつつ，あくまでも行政の都市像として位置づける。総合計画の基本構想のような市民合意，合意形成型ではなく，行政課題解決型としての構成に徹底する。
- ・ 短期計画で取り込めない事業化が前提となる事業，熟度や変更要因の大きい事業についても説明責任として位置づけることが必要である。

#### イ 意見提案の課題点

- ・ 長期的な視点が強調されないため，短期的短絡的という印象を与える。
- ・ 構成の詳細な検討結果が明らかではないため，実態として構成できるかに不安がある。

## 2 共通的事項

### (1) 頻度の高かったと思われる意見提案等

- ・ 構成要素としては，素案の内容が必要であるが，行財政改革の部分など，重複する事項，取組（推進）方法については精査をして簡潔にする。
- ・ 長期展望にはプラスの要素も盛り込んでいく。
- ・ 将来像（都市像）は重点化しない形で位置づける。
- ・ 部門課題からボトムアップしたほうが良い。
- ・ 事業を位置づけてから議論したほうが良い。
- ・ 重点化は政策，施策，事業レベルのなかで行う。

### (2) 意見提案の課題

- ・ 事業からのボトムアップについては，現状の策定スケジュールとスキームからは困難である。事業を想定しつつ検討するレベルであれば可能である。

## 3 各意見提案の比較検討

### (1) 構成内容

次表のとおりであるが，それぞれの構成内容に記述する要素によっては検討結果の意図と異なる可能性がある。

構成内容	1 班	2 班	3 班
長期展望（課題）	○	○	○
長期展望（方向性）	○		
時間軸による課題仕分け	○		○
将来像	○	○	○ (行政の都市像)
重点目標（政策）	○ (重点化)	○ (総合化)	○ (重点化)
分野別方針（施策）	○ (個別計画)	○ (重点化傾向)	○ (重点化)
重要・主要事業	×	○	○
長期的な課題案件	×	○	○
行財政運営のあり方	×	○	
中期財政見通し	○	○	○
公共施設再整備の考え方	○	○	
資料	○	○	○
重点化部分	政策・施策	事業	政策・施策
総合計画との差別化	○	△	◎

#### 4 再検討の論点

##### (1) 総合計画との差異の明確化

構成と記載内容によって総合計画との差異を明確化する。

ア 将来像（都市像）（キャッチフレーズ）を目立たせない（目立たせる）。

イ 指針の重点化計画としての位置づけを強調し、重点政策を構成の前半で記述する（記述しない）。

ウ 将来像等よりも前に位置づける（位置づけない）。

エ 裏づけや背景については、本章中ではできるだけ簡潔にし、資料編のなかで詳細を示す（本章中に示す）。

ウ 前文のなかに、行政計画であること（計画の趣旨）、現状分析等を簡潔にまとめる（まとめない）。※前文の定義が必要

## (2) 長期展望の内容

ア 長期的な課題の対応（裏返し）は将来像となるか、政策（重点化）となるかについて精査する。

イ 将来的な見通しとして、政策転換でも解決が困難な所与の前提を示す（示さない）。

ウ どのような方向性に立つのか（人口をどうしたいのか。土地利用をどうしたいのか）という点での方向性を位置づける（位置づけない）。

エ プラス要素の内容は何か。

## (3) 将来像

ア 都市像とするかについて検討する。（将来像は議決したという経過があるため。）

イ 章立てや強調はしない（する）。

## (4) 重点政策・主要な施策

ア 重点化していない政策が未実施であるように認識されることを防ぐため、重点化は事業で行う（政策・施策で行う）。

イ 施策の重点化に当たっては、総合的に示した上で「特に〇〇については重点的に取り組みます。」といった記載とする。

## 5 個別計画の取扱

屋上屋にならないよう指針を策定する必要があるが、指針が重点化計画となる段階で、各部門の計画行政を推進するための仕組みとして、個別計画は構成、内容も含めた再整理、新たな策定等が必要となる。

# 一次素案（専門部会案） 基本コンセプトについて

2013年5月24日（金）

指針策定検討委員会・専門部会合同会議



# 専門部会での検討にあたって

---

- 合同会議での意見提案内容を踏まえ、次のポイントを前提に検討

## <議論のポイントと経過>

①総合計画と差別化する。

②重点化する項目を整理する。

## <専門部会案としての整理>

構成・内容・用語について整理する。

# 議論のポイントと経過①

---

- 総合計画との差別化について
  - － 総合計画との差別化において強調すべき点
    - 重点化していることを明らかにする。
    - 長期的な視点を踏まえた短期計画であることを明らかにする。
      - － 長期的な視点は、行政の継続性を明らかにするためにも位置づけが必要
      - － 反面、長期的視点を強調し過ぎると差異が不明瞭



経過・長期的な視点等は、前文（第1章）で簡潔に示す。

課題対応・重点化プログラムとして位置づける。

## 議論のポイントと経過②

---

- 重点化する項目を整理する。
  - － 政策は総合的に扱う。
    - 「7つの重点政策（平成25年度施政方針）」との一定の整合に配慮
    - 施策，事業の入れ替えに耐え得る仕組みが必要
  - － 施策，事業は重点化する。
    - 各部門から長期的視点を踏まえた喫緊の課題を求め
    - 課題の裏返しを施策で反映し，重要・主要事業で課題解決を実行する。

施策の重点化＝根拠とメリハリのある事業選択

# 専門部会案としての整理①

---

- 第1章 基本的な考え方
  - － 指針策定の背景と目的
    - 総合計画の経過と課題，新たな指針の目的と役割
  - － 指針の期間
  - － 長期的な視点
    - 長期的な課題と藤沢の特長→目指す都市像
      - － 長期的な方向性は，目標との差が分かりづらくなると判断し，重点目標のなかで示すこととした。

# 専門部会案としての整理②

---

- 第2章 重点方針

- 各部門における重点課題
- 重点目標と分野別方針

- 重点目標の内容は重点政策との継続性を確保

災害などに備える, 文化・スポーツに親しむ, 豊かな環境を創る, 子どもたちを守り育む, 市民が元気になる, 地域経済を循環させる, 都市基盤を充実する, 市民自治・地域まちづくりを進める

- 各部門における重点課題から分野別方針（施策）を抽出

- 施策を重点化し事業の重点化に反映することで, 事業選択の正当性を明確化する。
- 一方で短期の重点化プログラムであること（総合計画ではないこと）を明確に位置づける必要がある。

# 専門部会案としての整理③

---

- 第2章 重点方針

- 財政見通し

- 3年分の財政予測（歳入，義務的経費，經常経費，政策的経費充当額）

- 進捗管理

- 事務評価 = 事務事業評価を活用
- 施策評価 = 市民満足度調査

- 目標管理としてはメルクマールによるが，重点化項目である施策レベルも含めた調査を行う必要がある。

- その他の必要項目については，資料にまわし，指針はボリュームを抑える。

## 専門部会案としての整理④

---

- 市政推進のためのリーディング事業・プロジェクト集
  - － 重点事業
    - 8月までの決定内容との区切りを明確化する
      - － 別冊化（指針の範囲内／範囲外かの決定）
      - － 議決等の範囲
    - 施策を推進する（喫緊の課題解決に寄与する）事業のみを差別化し，事業設定
    - 3年分の事業議決は，予算審議等の関係から困難
  - － 長期的に取り組む重要案件
    - 指針の期間外に本格的な事業実施となる，長期的に取り組む重要案件

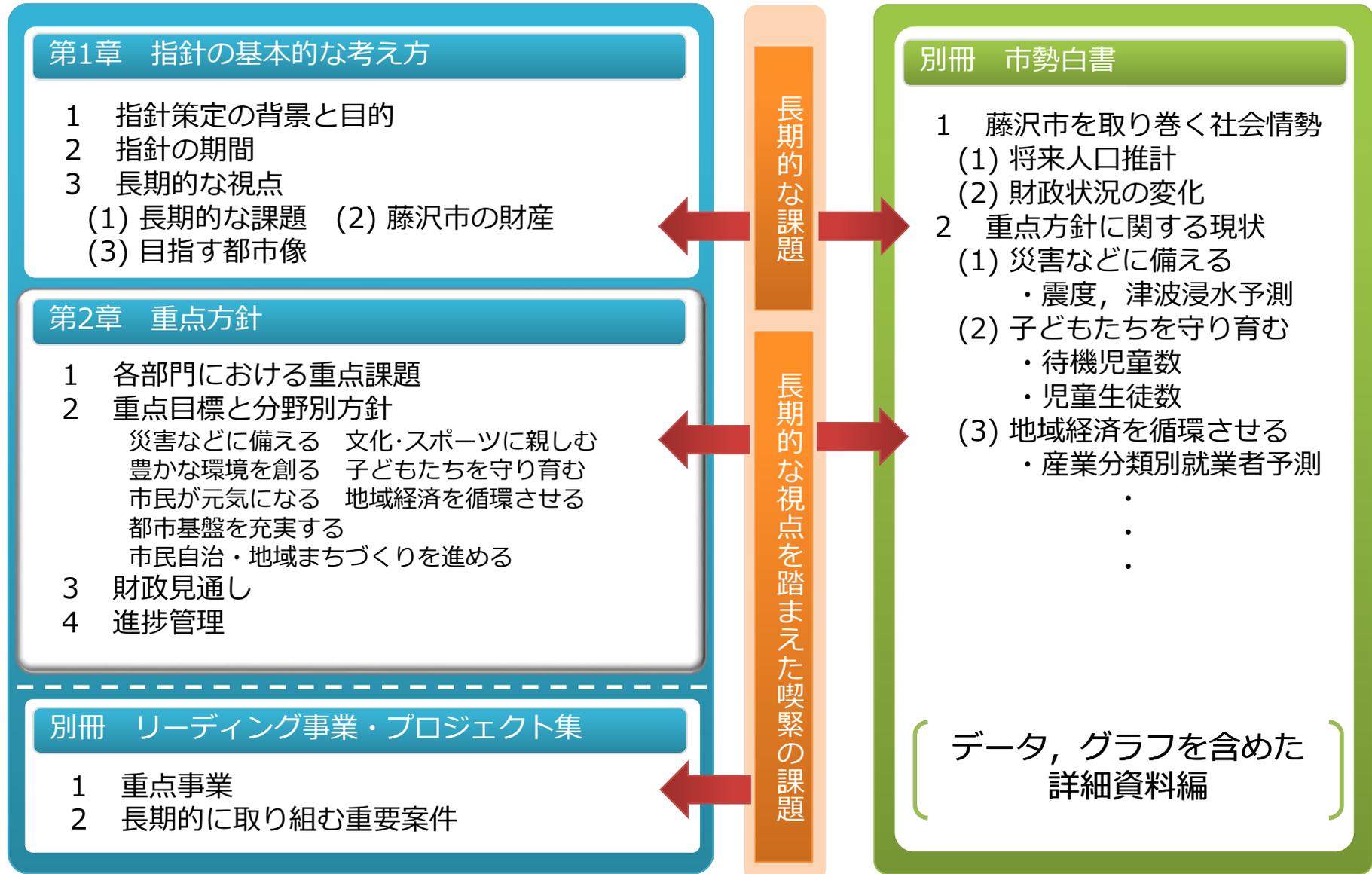
## 専門部会案としての整理⑤

---

- 市勢白書

- 長期的な視点，重点的な取組に関する背景，バックデータ，将来予測等を記載
  - 市政運営の透明化（重点化の説明責任）
  - 施策，事業展開における論点集
  - 市民満足度調査の説明資料
- 指針に合わせた改訂を想定

# 新たな市政運営の総合的な指針 一次素案（専門部会案）



## 新たな指針の構成について（一次素案）（専門部会案）

### 第 1 章 指針の基本的な考え方

#### 1 指針策定の背景と目的

これまでの総合計画の経緯や課題と社会情勢の変化から、総合計画に替わる新たな指針を「課題対応・重点化プログラム」として策定し、施策、事業の重点化による市政を推進することを示します。

- ・ これまでの総合計画の経緯と課題
- ・ 指針の目的（課題に対応し、重点化し確実に推進する。）

#### 2 指針の期間

指針が長期的視点を踏まえた上で、市長任期ごとに優先的、重点的に実施すべき施策、事業を位置づけるものであることを示します。

#### 3 長期的な視点

長期的な視点に立った市政の推進を図るため、長期的な課題、特性、目指す都市像を示します。

##### (1) 長期的な課題

###### ア 人口減少と少子化、高齢化等

人口減少の時期、少子化、高齢化、生産年齢人口の減少について示します。

###### イ 厳しい財政状況

将来的な歳入の減少見通しと社会保障費の増加による政策的経費の減少について示します。

##### (2) 藤沢市の財産

###### ア 自然環境・歴史・文化

藤沢市の自然環境とこれまでの歴史・文化について示します。

###### イ 都市の特長

藤沢市の土地利用、都市基盤に基づく住宅都市、商工業都市、農業都市、学園都市、観光都市としての特長について示します。

###### ウ 市民自治

藤沢市のこれまでの市民自治の取組みについて示します。

### (3) 目指す都市像

市政の目指す都市像について位置づけます。

## 第2章 重点方針

### 1 各部門における重点課題

長期的な視点を踏まえた上での、各部門における喫緊の課題事項について示します。

### 2 重点目標と分野別方針

各部門における重点課題に対応する目標と分野別方針について示します。

重点目標は、平成25年度施政方針の7つの重点政策にあわせ、地域まちづくりの推進を追加し、次のとおり再整理するとともに、各部門における喫緊の課題事項から分野別方針を位置づけます。

(重点目標)

災害などに備える，文化・スポーツに親しむ，豊かな環境を創る，子どもたちを守り育む，市民が元気になる，地域経済を循環させる，都市基盤を充実する，市民自治・地域まちづくりを進める

### 3 財政見通し

指針の期間における歳入，経常経費見込みから政策的経費充当可能額を示します。

### 4 進捗管理

指針の事業評価，施策評価と進捗管理の仕組みについて示します。

## 別冊 市政推進のためのリーディング事業・プロジェクト集

### 1 重点事業

重点目標の達成に向けて必要な事業のうち、特に指針の期間において確実に実施しなければならない事業について位置づけます。

### 2 長期的に取り組む重要案件

指針の期間外に本格的な事業実施となる、長期的に取り組む重要案件について位置づけます。

## 別冊 市勢白書（指針データ集）

### 1 藤沢市を取り巻く社会情勢

#### (1) 将来人口推計

将来人口推計の状況について示します。

#### (2) 財政状況の変化

市税収入，義務的経費の推移について示します。

### 2 重点方針に関する現状と予測

重点課題，重点目標，分野別方針に関する現状と予測について示します。

#### (1) 公共施設等の老朽化

公共施設等の老朽化について，建物建築年度の状況や資産老朽化比率により示します。

#### (2) 地震・津波被害予測

現在の地震，津波浸水予測について示します。

#### (3) 産業構造の推移

産業分類（大分類）別の状況について示します。

#### (4) 待機児童数，児童生徒数の推移

待機児童数，児童生徒数の推移と今後の推計について示します。

#### (5) 社会保障費の増加

扶助費等の見通しについて示します。

## 指針の名称について（専門部会委員提案）

**市政運営中期計画2014（正式名称）**

（理由）

民間でも長期計画よりも3～4年の中期計画を確実に実行しているのがトレンドらしいので、分かりやすい名称にしました。面白みがないので通称があった方が良いと思います。

**第一次藤沢市市政推進計画（正式名称） ふじさわ市政ナビ（通称）**

（理由）

重点化計画として事業までを位置づけるという点で「指針」ではなく「計画」とすること、「総合的」という手法ではなく、「市政」を「推進」するためのものであること、継続的な仕組みとして改定ごとに版を上げるという意味で「第一次」とすることからこの正式名称としました。通称については、市政を導くという意味を込めて「市政ナビ」としました。

**藤沢市市政推進計画**

（理由）

タイトルが市長交代時も基本的に変わらないという前提であれば、「〇〇ナビ」といった通称的なタイトルでない方がよいと思います。

**藤沢市まちづくり基本計画（正式名称）**

（理由）

ここ数年、新たな～、みんなの～等、長い名前の「簡易風名称」と通称がはやりましたが、あえて従来ながらのシンプル路線でも良いのではないのでしょうか？国の前政権がよく用いたこのような名称にみんなあきている？のではないのでしょうか？今後総合計画代わりに使用するのであれば、単純なほうが良いと思いますし、副題がわりにキャッチコピーを4年ごとに、市長の個性を反映して変えていけば良いと思いました。

## ふじさわ市政優先施策2014-2016

(理由)

名前をみて、何が書かれているかがイメージできるようにするため、特に横文字等を用いないようにしました。「藤沢市政」の「2014」から「2016」年までの「優先」的に進めていく「施策」。「ふじさわ」としたのは、少しでも柔らかいイメージを持ってもらうためです。

## 最適な生活空間をめざして(正式名称) 藤沢市航海予定表(通称)

(理由)

将来像に向けて進めるための帆船(藤沢市)をイメージし、メインセール(第一の帆)、ジブセール(第二の帆)それぞれに重要となるテーマを位置づけ、最終目的地(将来像)に向けて船を進めていくイメージしています。

## 第一次藤沢市市政推進実行計画〈新たな市政運営の基本方針〉 「ふじさわア

## クションプラン2016」

(理由)

計画が“絵に描いた餅”にならないよう、アクション(行動)という名称を使用しました。将来像の実現に向け、計画期間内における確実な行動(事業着手)に努めることを目的(目標)としたプランとします。

## 湘南ふじさわ重点政策2015

(理由)

「〇〇計画」では、市民には総合計画から何が変わったのかが分かりにくいため、名称から内容が伝わりやすいもので、かつシンプルなものとしました。

## ふじさわ市政cruise

(理由)

船に例えた鈴木市長が発言した言葉が頭に残っていて、cruiseを使ってみました。cruise=巡航=経済速度で走行する、3年~4年ごとに港による=その時々  
の経済等に合う方向を見直す…なんていかがですか？

ふじさわ市政基本構想（２０１４－２０１６）

第一次藤沢市基本計画（正式名称） ふじさわ未来プラン２０１６（通称）

ふじさわ未来予想図

ふじさわの設計図

ふじさわの進む道

ふじさわ未来構想

ふじさわ市政戦略

ふじさわ市政大鑑